



ひまわり

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

第303号
令和8年7月17日



1学期をふりかえって



1年生が種をまいた朝顔がぐんぐんつるを伸ばし、毎朝、大輪の花を咲かせています。登校するだけで汗だくの子供たちを玄関で涼げに迎えています。今日で69日間の1学期を終えることができました。子どもたちも、朝顔のように毎日多くのことを吸収し、それぞれが自分の花を咲かせた1学期でした。

朝、地域の方に、「おはようございます」と遠くから大きな声であいさつをする子も増えました。始業チャイムより早く遊びをやめて教室へ入ったり、給食を時間内に食べられるようになったり、時間を見て行動できるようになりました。委員会活動や縦割り班活動で他の学年のお手本となる行動もたくさん見られました。

さらに、授業中、落ち着いて先生や友達の話を聴き、学ぼうとする学習態度が身につく「わかった」「できるようになった」を実感、そして自信へとつながっています。

明日から、40日間の夏休みに入ります。家庭や地域で学校では体験できない行事や人とのつながりを通して、また時間割の無い自由な時間の中で自分を律し、家族の一員として視野を広げ、汗を流し、ひと回り成長してほしいと願っています。

「仲ちゃんの三輪車と鉄かぶと」 平和学習をしました

平和資料館に展示されている、仲ちゃんの三輪車。報道で紹介され、絵本にもなっています。原爆で3人の幼い子どもを亡くしたお父さんが、あまりの悲しみに3歳の息子仲ちゃんの亡骸を乗っていた三輪車と共に、庭の片隅に埋葬して弔い続けられました。それから40年の時が流れ、遺骨をお墓に移すことを決意して掘り返し、原爆の悲惨さを次の世代へ継承するためにさび付いた仲ちゃんの三輪車と鉄かぶとを平和資料館へ寄贈されました。

その仲ちゃんの弟の「鉄谷敏則さん」が、広島市から子供たちに原爆の実相そして平和への思いを伝えるために君田小学校へ来てくださいました。

当日は、作木・布野・河内小の3・4年生も集まりました。鉄谷さんの希望で6年生3人が、自ら創作された家族の思いがつまった物語を60人の前で心を込めて朗読しました。

「子供たちの感想から」

- 仲ちゃんのお父さんは、悲しい出来事をわすれないように毎日お墓参りをしていたと思います。ぼくは、農家さんになって世界中のみんながお米を食べられるようにしたいです。
- お父さんは、「守れなくてごめんね」とお墓に言っていたと思います。もう争いのない国になってほしいです。ぼくは、ともだちみんなにやさしくしたり、ゆずりあったりしたいです。
- 戦争がなかったら、毎日3人の子供と楽しく過ごせたと思います。
- 原爆ドームや資料館に行って、こうだったらよかったんだな、と考えたりしたいです。
- 悲しくて、辛くて、心が痛くなりました。争いのないみんなが幸せに暮らせる平和な世界になってほしいです。そのためには、大人になって優しい人が総理大臣になれるよう投票したいです。
- アオガリの唄の歌詞みたいに「みんなの明るい笑顔」のたくさんある世界にしたいと思いました。
- 私は、もう少し平和について学びたいと思います。



保護者アンケートにご協力ありがとうございました

令和8年度 学校教育に関するアンケート

回答率88%



今回のアンケートでは、100%の保護者の皆様から「子供は楽しく学校に行っている」との嬉しいご回答をいただきました。日々、子供たちの変化を温かく見守り、学校を信頼していただいている皆様に深く感謝いたします。一方で数値の上では100%であっても、小さな不安や言葉にできない悩みを抱える瞬間が誰しもあると考えております。子どもたちが自分の悩みを抱え込んでしまうことのないよう、私たちは今後も、日々のわずかなサインや変化を見逃さない丁寧な見守りを続けてまいります。何か気になることがございましたら、いつでも遠慮なく学校へご相談ください。スクールカウンセラーの朝倉先生、スクールソーシャルワーカーの石原先生へのご相談もお待ちしています。

7月の君田っ子

全校で防災学習



今年は、今田さん、宍戸さん、谷口さん、宮本さん、西田井さん、5人の防災士さんから、全校で災害時避難行動のマイタイムラインの作成について学びました。ハザードマップをもとに自分の家が建っている場所にどんな危険が潜んでいるのかを知り、避難場所を確認し、防災バックの中に何を入れるかを考えました。最後は、避難所で使う防災トイレの組み立て方の実演もしていただきました。

今年も三次法人会から君田交通の松尾社長さんたちが税金の仕組みについてわかりやすく授業をしてくださいました。

5・6年生は、当たり前に使っている施設やサービスが税金で賄われていることを知りました。三次市では、給食費の無償化やこども医療費の助成に税金が使われていて、税金がなくなると今の生活の歯車が回らなくなることに気づきました。

5・6年租税教室

